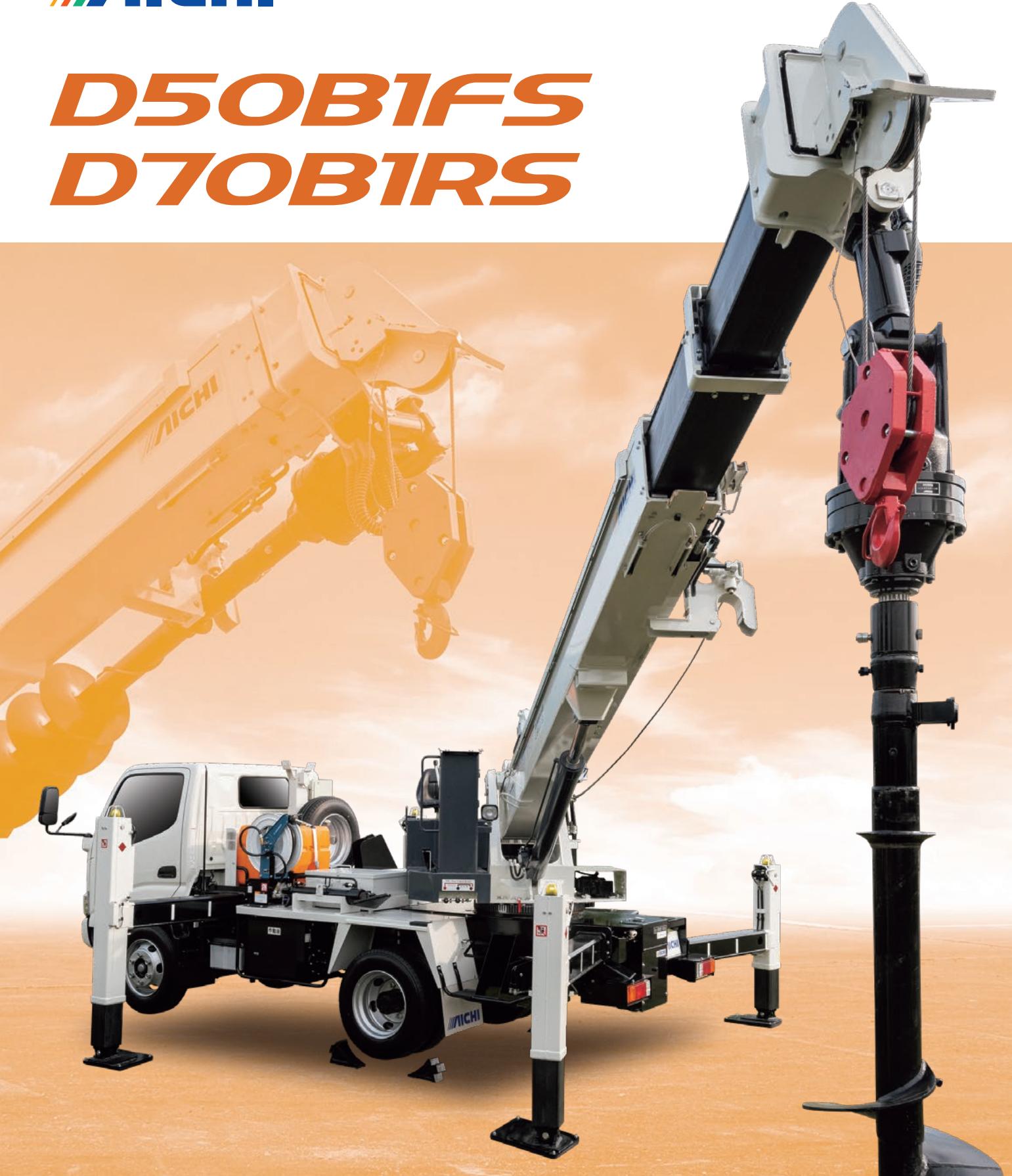




D50B1FS

D70B1RS



ポールマスター

「安全」「効率」「快適」を現場に

人力で行っていた建柱作業を少しでも安全・快適にしたい。

その想いから、1台で電柱の穴掘りと建て込みができる穴掘建柱車は

スタートしました。車両の形は変われど、創業から変わらぬ姿勢で

お客様の現場作業をサポートします。



CONTENTS

- | | |
|-----------------|--|
| P.03 ラインナップ | Line Up |
| P.05 特長紹介 | Feature Introduction |
| P.09 操作装置／構造・装備 | Operating Device / Structure and Equipment |
| P.17 オプション | Option |
| P.21 作業範囲図 | Working Range |
| P.23 車両寸法図 | Vehicle Dimensions |
| P.25 主要諸元 | Main Specifications |

CHECK!

商品紹介ビデオ



カタログ内のQRコードを読み込むことで
紹介動画をご覧頂けます

D50B1FS
D70B1RS

※掲載画像はオプション装着車です



CHECK!

ラインナップ



D50B1FS

車両前方でのクレーン作業を可能にしつつ
コンパクトな車体を実現した前方格納型



■必要な運転免許
中型自動車運転免許(8t限定)または中型自動車運転免許

■必要な操作資格

【穴掘、建柱、抜柱作業時】
「穴掘建柱車運転のための特別教育修了者」または
「車両系建設機械(基礎工事用)運転技能講習修了者」
【荷の吊り上げ(荷役)作業時】
「小型移動式クレーン運転技能講習修了者」または
「移動式クレーン運転士免許取得者」



D70B1RS

高トルクの穴掘性能と
広い作業範囲を誇る後方格納型



■必要な運転免許
中型自動車運転免許

■必要な操作資格

【穴掘、建柱、抜柱作業時】
「車両系建設機械(基礎工事用)運転技能講習修了者」
【荷の吊り上げ(荷役)作業時】
「小型移動式クレーン運転技能講習修了者」または
「移動式クレーン運転士免許取得者」



※掲載画像はオプション装着車です

AICHI CORPORATION 04

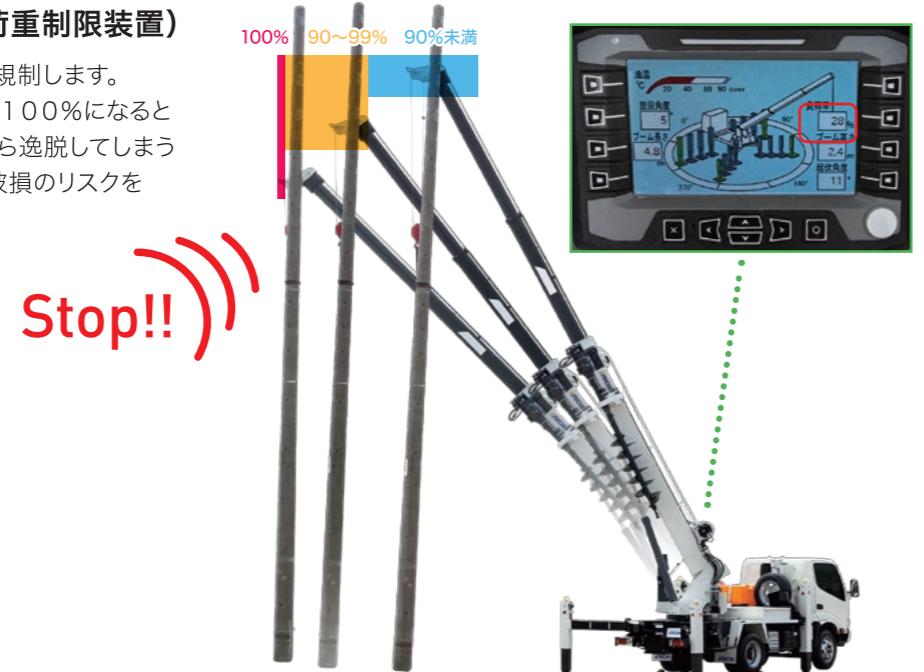
安全

車両転倒リスクの低減!

モーメントリミッター(定格荷重制限装置)

クレーン作業における定格荷重超過を規制します。負荷率90%以上になると警報を発し、100%になると全作動を自動停止。安全な作業領域から逸脱してしまうといった危険を予防し、車両の転倒や破損のリスクを低減します。

※各負荷率を示す線はイメージです
※停止後でも安全側への操作は可能です



ジャッキ・ブームインターロック装置

ジャッキ未接地時にはブーム操作を、ブーム未格納時にはジャッキ操作を規制する安全装置です。

車両転倒リスクの低減とブーム格納忘れ防止に貢献します。



【作動例】
ジャッキが未接地の場合に
ブーム操作を規制

ジャッキ未接地

クレーン作業範囲について

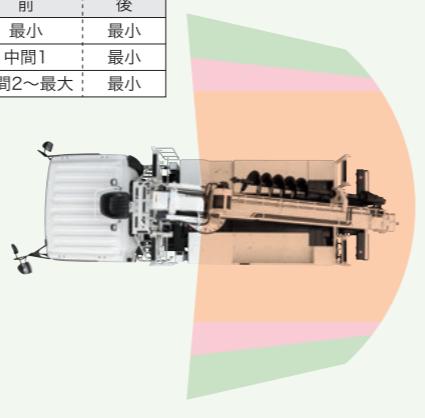
D50B1FSおよびD70B1RSでは、アウトリガー張出量によってクレーン作業範囲が変化します。詳しくは下図を御参照ください。

図の見方

図は「吊り荷重2.9t時のクレーン作業範囲」を表します。
→アウトリガーパー別に作業範囲を色分け

(例)前アウトリガーパー: 最小張出 + 後アウトリガーパー: 最小張出の場合
⇒オレンジのエリアでクレーン作業が可能

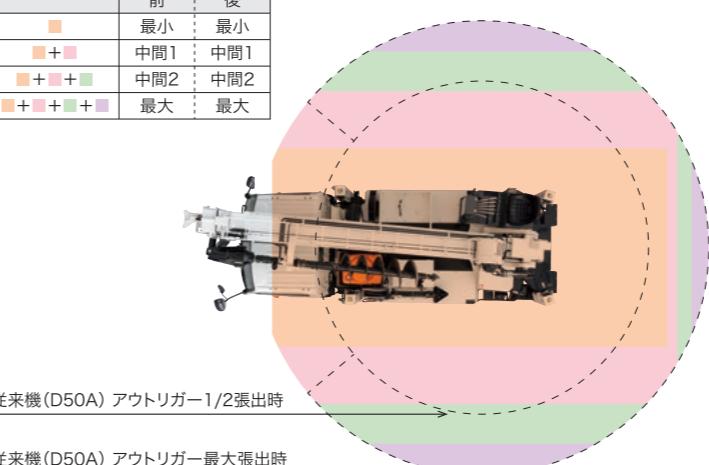
D70B1RS		アウトリガーパー	
		前	後
■	最小	最小	最小
■+■	中間1	中間1	中間1
■+■+■	中間2	中間2	中間2
■+■+■+■	最大	最大	最大



D50B1FS

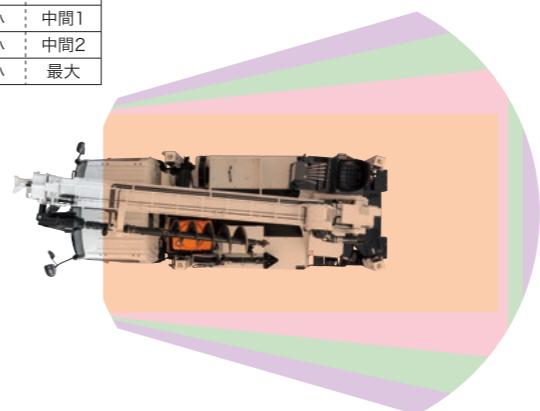
クレーン作業範囲(4本同一張出の場合)

D50B1FS		アウトリガーパー	
		前	後
■	最小	最小	最小
■+■	中間1	中間1	中間1
■+■+■	中間2	中間2	中間2
■+■+■+■	最大	最大	最大



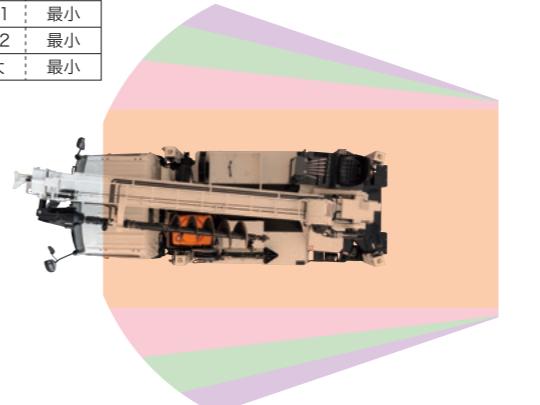
クレーン作業範囲(前後で違う張出の場合①)

D50B1FS		アウトリガーパー	
		前	後
■	最小	最小	最小
■+■	最小	中間1	中間1
■+■+■	最小	中間2	中間2
■+■+■+■	最小	最大	最大



クレーン作業範囲(前後で違う張出の場合②)

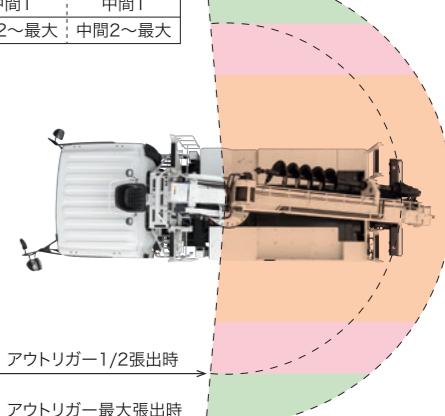
D50B1FS		アウトリガーパー	
		前	後
■	最小	最小	最小
■+■	中間1	最小	最小
■+■+■	中間2	最小	最小
■+■+■+■	最大	最小	最小



D70B1RS

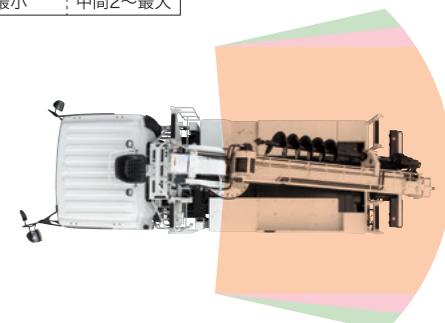
クレーン作業範囲(4本同一張出の場合)

D70B1RS		アウトリガーパー	
		前	後
■	最小	最小	最小
■+■	中間1	中間1	中間1
■+■+■	中間2	中間2	中間2
■+■+■+■	中間2～最大	中間2～最大	中間2～最大



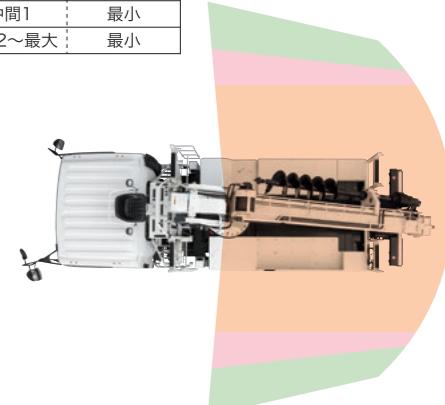
クレーン作業範囲(前後で違う張出の場合①)

D70B1RS		アウトリガーパー	
		前	後
■	最小	最小	最小
■+■	最小	中間1	中間1
■+■+■	最小	中間2	中間2
■+■+■+■	最小	中間2～最大	中間2～最大



クレーン作業範囲(前後で違う張出の場合②)

D70B1RS		アウトリガーパー	
		前	後
■	最小	最小	最小
■+■	中間1	最小	最小
■+■+■	中間2	最小	最小
■+■+■+■	中間2～最大	最小	最小



※掲載画像はオプション装着車です

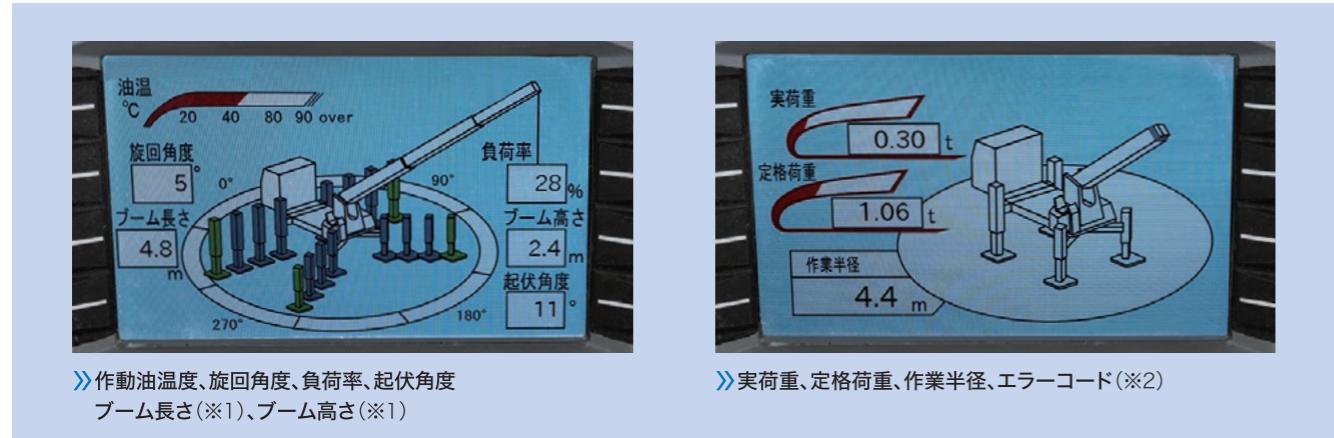
作業効率

安全作業をアシスト！

マルチモニター

操作装置の液晶画面で、様々な車両情報を確認可能。複数箇所の計測器を同時に目視する必要がないため安全な作業をアシストします。また画面の明るさを調整できる「画面輝度調整機能」も標準装備。日光の当たり方や時間帯といった作業環境に応じた使いやすさを追求しました。

表示内容例



CHECK!

マルチモニター



架空線のかわし作業を効率的に！

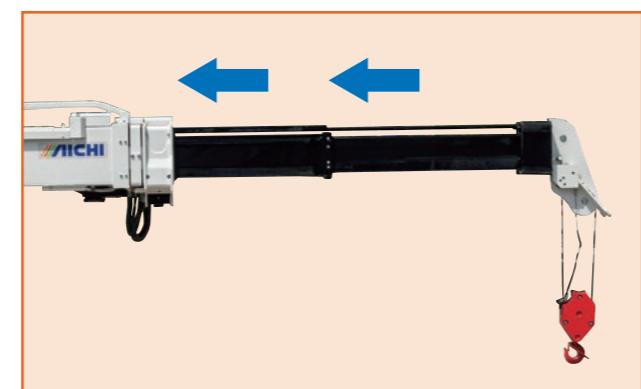
ワイヤーガード

障害物との接触によるワイヤーの破損リスクを低減するワイヤーガードを標準装備。第2および第3ブームのワイヤーガードが小型であるため、架空線をかわす際に邪魔になりにくく作業効率の向上に貢献します。



ワイヤーガード

ブーム全縮時に、第2および第3ブームのワイヤーガードが第1ブーム内部へ格納。



CHECK!

ワイヤーガード

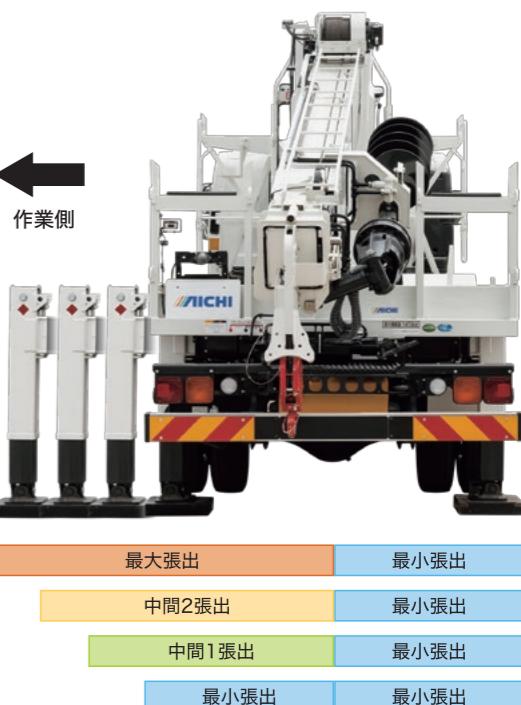


狭隘地でのクレーン作業が可能に！

アウトリガー最小張出

従来は左右ともに1/2以上のアウトリガー張出が必要だったクレーン作業が最小張出でも実施可能となりました。また作業側と反対側のアウトリガーを最小張出にすることで設置占有幅を低減できます。

※穴掘作業時は中間2以上でのアウトリガー張出が必要となります



SMIL®

SMART MESSENGER & INTELLIGENCE LINES SYSTEM

SMIL®とは、機械から得られる作動記録を適切なタイミングで「現場」「管理」「経営」のそれぞれに活用できる情報として、お客様に提供し続けるシステムの略称です。

安全対策・教育に活用

機械情報を遠隔で把握し、操作履歴からヒヤリ・ハットを読み取り、見える化することにより有効な対策や教育の実施に寄与します。

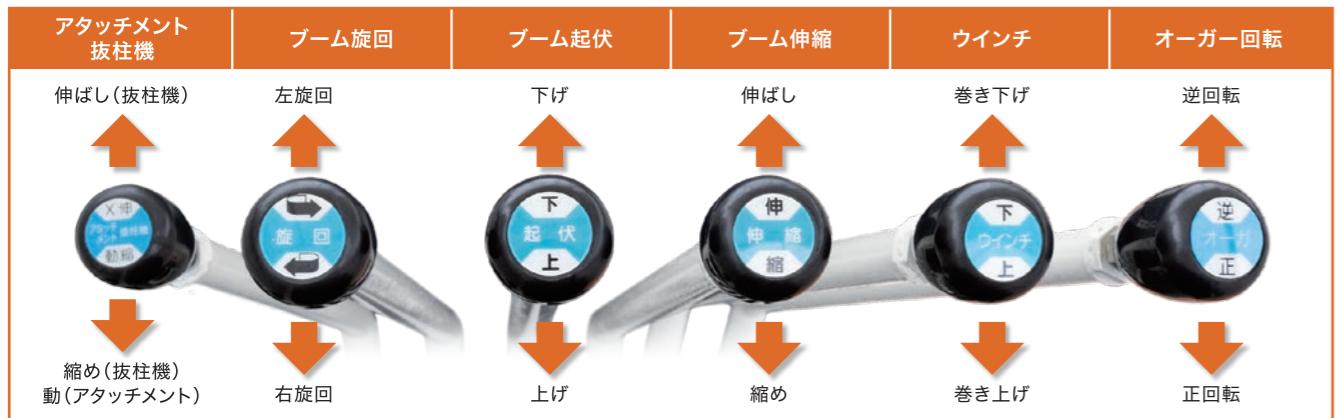
効率的なメンテナンスに貢献

部位ごとの稼働やエラーシグナルを把握することで、それぞれの機械状態に沿った最適なメンテナンスの実現に貢献します。

分析による経営課題の見える化

機械のデータを稼働状況として分析し傾向を掴むことで、配備計画や代替サイクルのご提案などお客様の経営課題に合わせたサポートに貢献します。

※ OPマークは「オプション装備」であることを表します
※掲載画像はオプション装着車です

D50B1FS Standard lever type

» 操作レバー(標準)

「ブームの旋回・起伏・伸縮」「ワインチ」「オーガー」「アタッチメント」操作が各レバーで可能。



» 作業用操作装置 ①

電気式無段階制御のアクセルペダルによって高い操作フィーリングを実現。



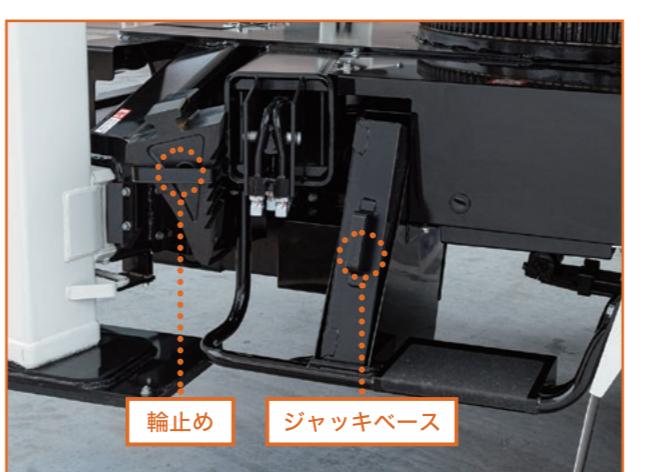
» 作業灯 ①

操作者の視界を補助。



» アウトリガー・ジャッキ操作装置 ②

アウトリガーパターンやジャッキ接地状況をインジケーターで確認可能。



» 輪止め・ジャッキベース格納位置① ③



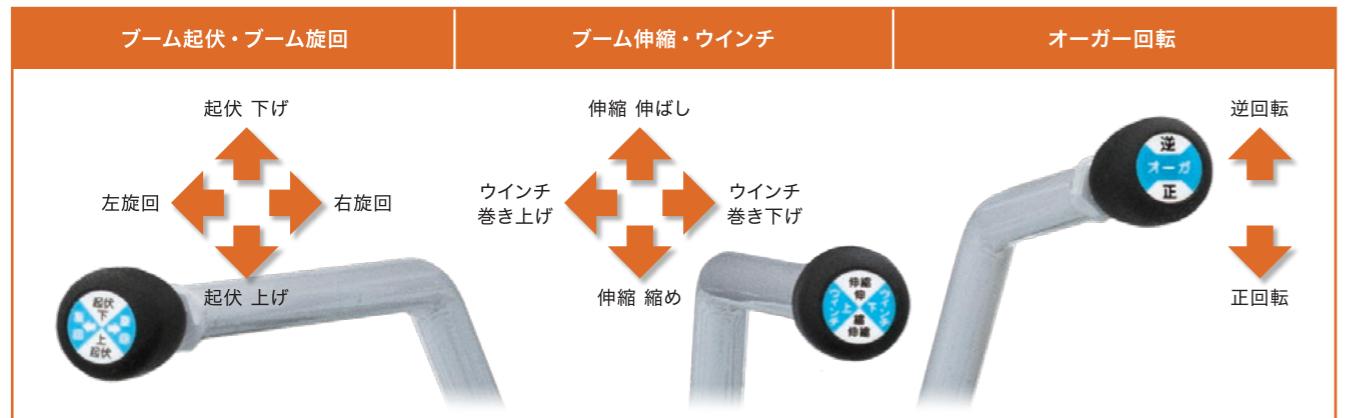
» ジャッキベース格納位置② ④

※掲載画像はオプション装着車です

D70B1RS Multiaction lever type

CHECK!

マルチアクションレバー



» マルチアクションレバー

ブームおよびオーガー操作を3本のレバーに集約。
複合操作を行いやすく、レバーを持ち替える手間を軽減。
※標準装備は「5本操作レバー方式」となります



» アウトリガーリ・ジャッキ操作装置 ①

» 乗降ステップ ②



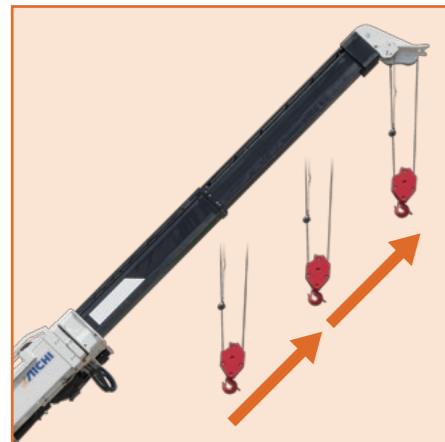
» 輪止め格納位置 ②



» ジャッキベース格納位置 ③



※ OPマークは「オプション装備」であることを表します
※掲載画像はオプション装着車です



» フック平行移動装置

ブーム伸縮操作時にブームヘッドとフックとの間隔を一定に維持。ブーム伸操作によるワイヤー切断リスクを低減。



» フック巻過防止装置

ワインチの巻き上げ過ぎによるワイヤー切断リスクを低減。



CHECK!

各装備の紹介



» ウインチドラム

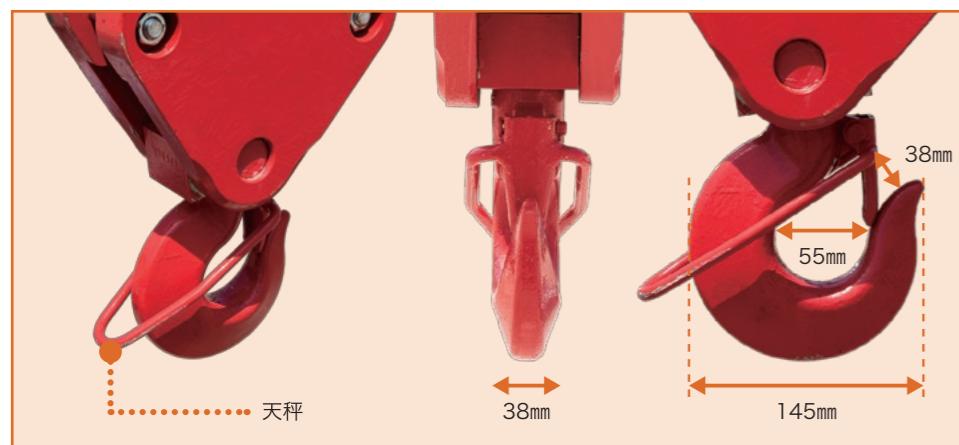
溝付きドラムの採用により、乱巻きの発生を抑えてスムーズな繰り出しが可能。



» ウインチドラムカバー(D50B1FSのみ)

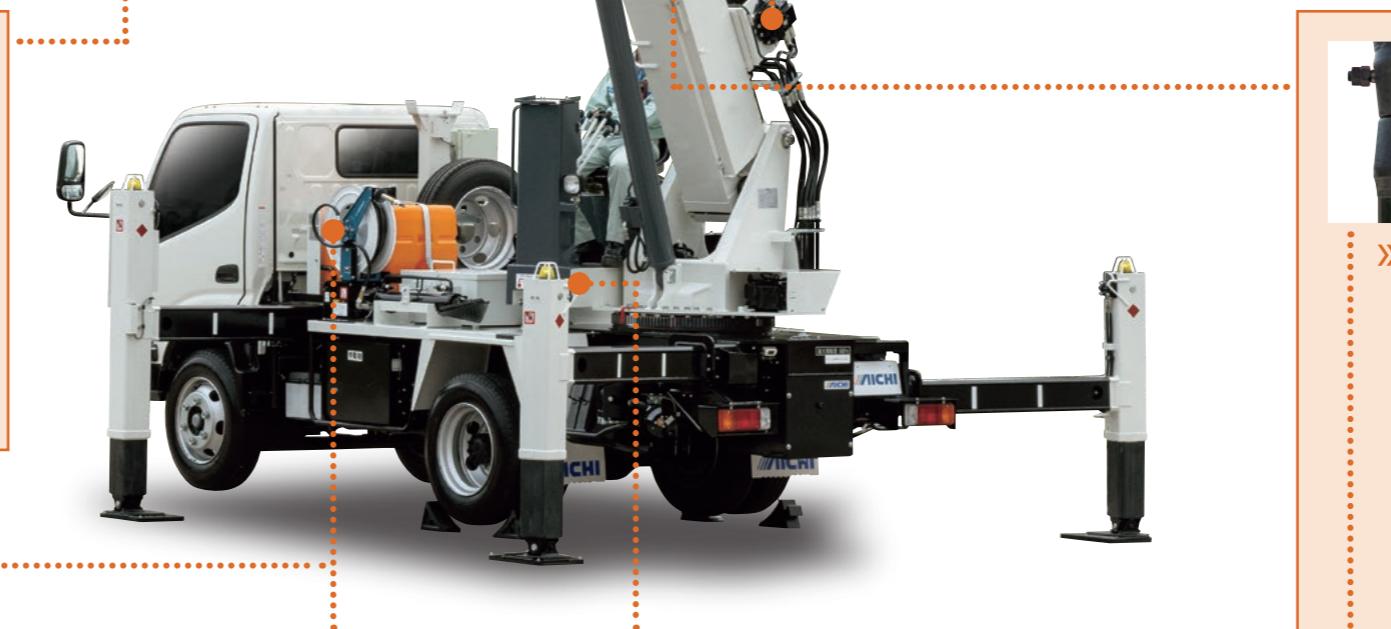
手の巻き込まれリスクを低減。
またメンテナンス時に工具無しで取り外しが可能な構造を採用。

※D70B1RSはオプション



» 吊りフック

吊りフックの形状を変更し、天秤のとび出し部分を拡張。



» 水タンク(100ℓ)・電動ポンプ

専用ホースを接続することにより、強力な水圧で洗浄作業が可能。
オーガー、路面の洗浄や埋戻し時の水締め作業に使用。

※画像内の「水ホースリール」はオプションです



» 使用イメージ



» 油圧取出口

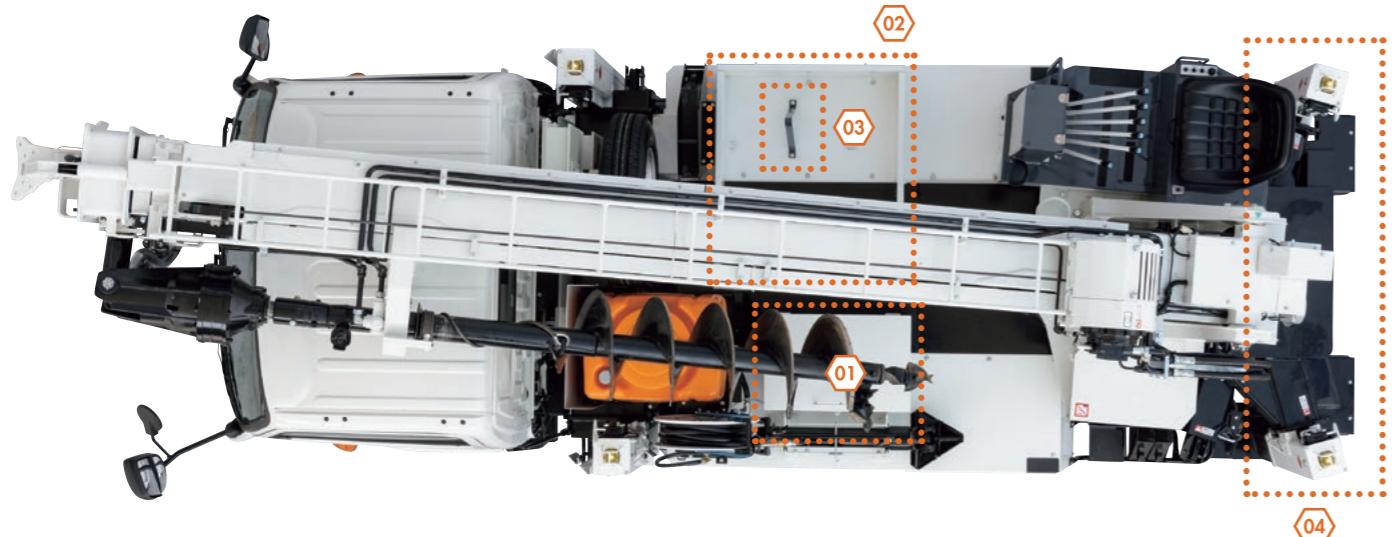
油圧ホースを接続することで各種油圧ツールを使用可能。



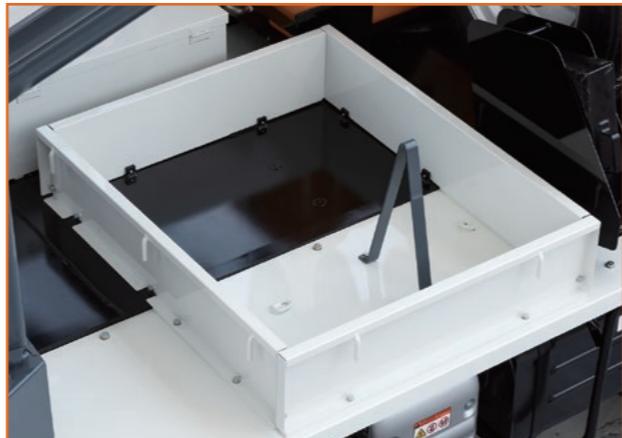
» 伸長式オーガー

オーガーの長さは5段階、最大で1.9m伸長可能。

※ OPマークは「オプション装備」であることを表します
※掲載画像はオプション装着車です

D50B1FS

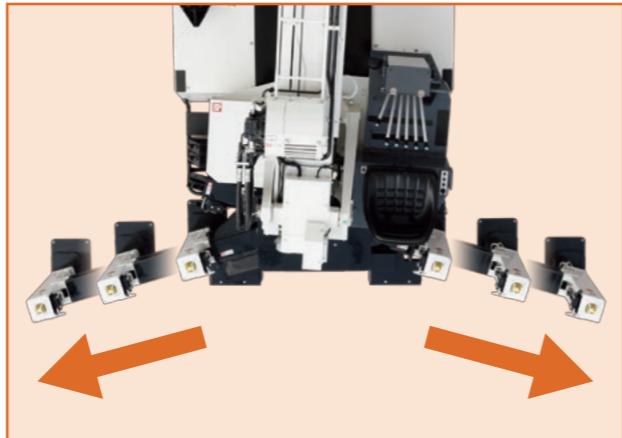
»工具箱 ①
寸法(幅×高さ×奥行)
645mm×255mm×425mm



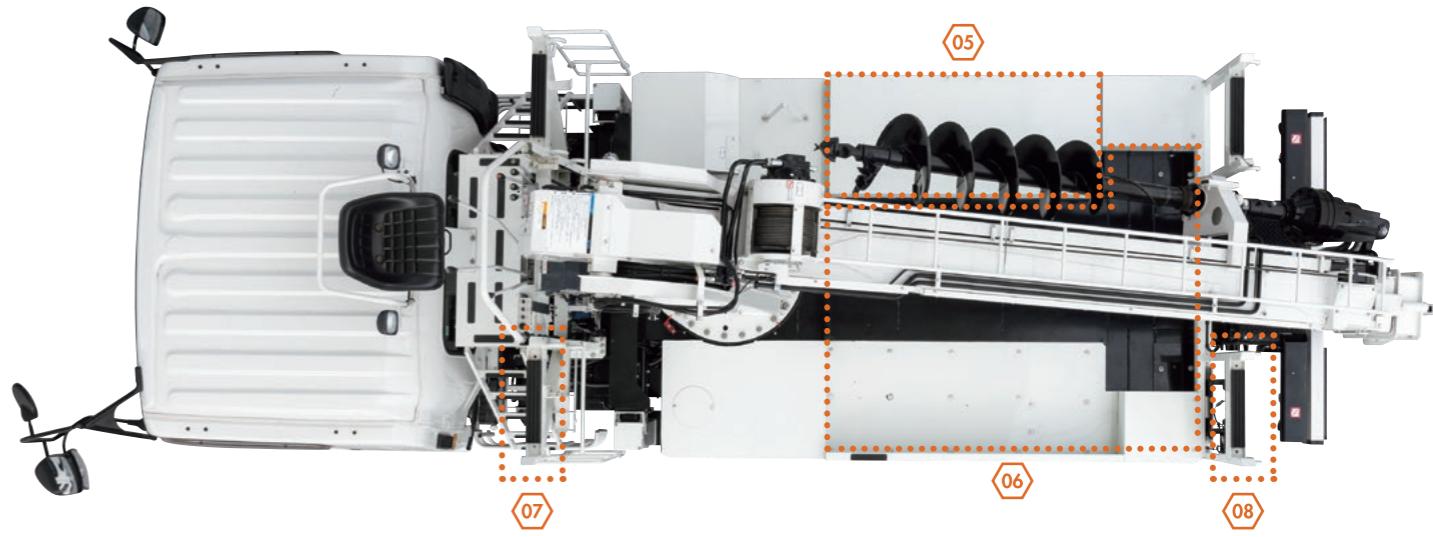
»荷枠 ② OP
寸法(幅×高さ×奥行)
805mm×205mm×975mm



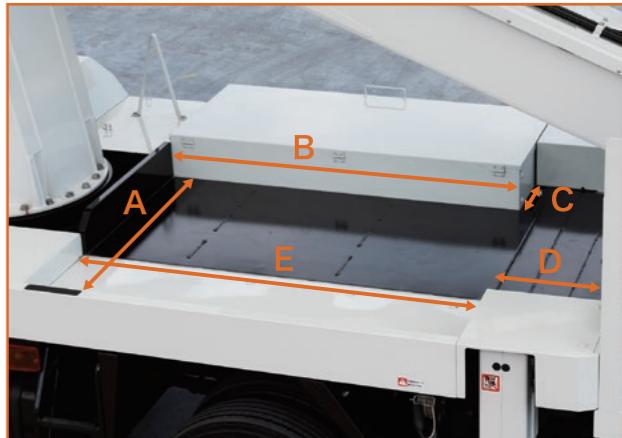
»セーフティーコーン収納 ③
最大10個まで搭載可能。



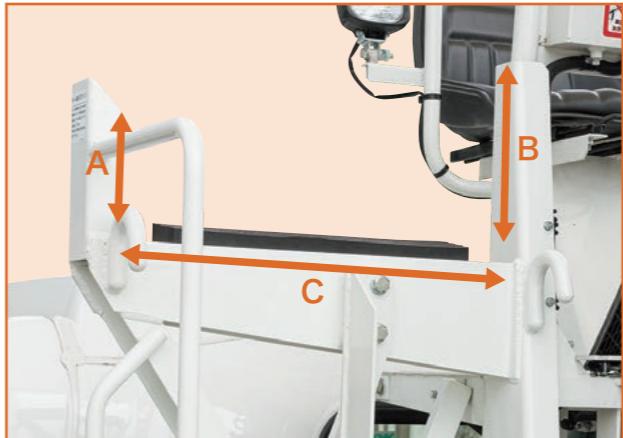
»後ろアウトリガー斜め張出 ④
後ろアウトリガーが斜め方向に張り出すことで高い安定性を確保。

D70B1RS

»工具箱 ⑤
寸法(幅×高さ×奥行)
1560mm×195mm×650mm



»荷台 ⑥
寸法
A:1485mm B:1580mm C:280mm D:395mm E:1705mm



»仮受台(車両前方側) ⑦
寸法
A:105mm B:230mm C:540mm



»仮受台(車両後方側) ⑧
寸法
D:145mm E:145mm F:510mm

※「仮受台」に電柱を搭載した状態での車両走行は法令違反となります

※ OP マークは「オプション装備」であることを表します

※掲載画像はオプション装着車です

オプション一覧 

部位	装備名	備考	D50B1FS	D70B1RS
ブーム	450mmオーガー	オーガー直径:450mm	○	○
	350mmオーガー	オーガー直径:350mm	△	△
	地上操作型セットピン	セットピンの操作を地上の作業者が実施可能	△	△
	ワインチドラムカバー	手の巻き込まれリスクを低減	○	△
	ブーム格納位置旋回指針	ブーム格納位置を表示	△	○
操作装置	標準操作レバー	起伏、旋回、伸縮、ワインチ操作を各専用レバーで実施。標準仕様	○	○
	マルチアクションレバー	起伏/旋回操作、伸縮/ワインチ操作がそれぞれ1本のレバーで可能	△	△
	操作席防水カバー	雨や塵から操作席を保護	△	△
	排ガス浄化装置警告灯	排ガス浄化装置の手動操作が必要時に点灯	△	△
	作業灯	操作者の視界を補助	○	○
	LED作業灯	作業灯をLED仕様に変更	△	△
荷台	荷枠(高さ50mm)	荷台に工具・機材の搭載スペースを設置 寸法(幅×高さ×奥行):1060mm×50mm×1860mm	△	-
	荷枠(高さ205mm)	荷台に工具・機材の搭載スペースを設置 寸法(幅×高さ×奥行):805mm×205mm×975mm	△	-
	オイルクーラー	高負荷連続作業によって温度が上昇した作動油を冷却 作動油温度が一定以上に達すると自動で作動	△	△
	油圧ホースリール	手動巻き取り式のホースリールを設置(長さ10m)	△	△
	水ホースリール	手動巻き取り式のホースリールを設置(長さ15m)	△	-
	水タンク+電動ポンプ	専用ホースを接続することで洗浄作業が可能	○	○
	水タンクレス	積載スペースの拡大	△	-
	旋回レースカバー	旋回レースの汚損を軽減	△	○
	スコップ掛け+ワイヤーロープ掛け	スコップ(最大4本)とワイヤーロープの格納が可能	-	△
アウトリガージャッキ	フロントロングジャッキ	クレーン作業時は11度、穴掘作業時は7度までの傾斜を補正	△	-
	LEDアウトリガー注意灯	ジャッキポスト上部の注意灯が点灯し、周囲に注意喚起	△	△
	ゴム付大型パッドベース	ジャッキ接地圧を低減	△	-
	ニュートラル検知インターロック装置	「特定のシフトに入っている」「駐車ブレーキをかけている」といった条件を満たさない場合にジャッキ操作を規制	△	△
	車体傾斜インターロック装置	車体の傾斜角度が一定以上の場合に架装部操作を規制	△	△
キャビン	カラーバックモニター	車両バック時の後方視界を補助	△	△
搭載品	油圧延長ホース	油圧ツール用の延長ホースを搭載	△	△
	抜柱機	電柱の引き抜き作業で使用(専用ホース・取付チェーンが付属)	△	△
	油圧ハンドブレーカー	石、コンクリートの破碎用。ピット交換が可能	△	△
	各種ピット	タンバーピット、アンカードライバー、チゼルピット、ショベルピット、カッターピットなど ※油圧ハンドブレーカー選択時のみ搭載可能	△	△
	コンクリートカッター	舗装路面、鉄線の切断が可能	△	△
	黄色輪止め	視認性の向上。置き忘れ防止に寄与	△	-
	工具セット	片口スパナ、六角レンチを追加搭載	△	△

○ 標準装備 △ オプション - 設定なし

※仕様内容により装着できない場合があります

装着適合表(オーガー歯先)

	オーガー歯先	350mmオーガー 	450mmオーガー
M型歯先	土砂層向け(硬土・軟岩) 交換式の歯先を採用	-	○
S型歯先 	土砂層向け(硬土・軟岩) 歯先を溶接することで耐久性を向上	●	●
A型歯先 	岩盤層向け(軟岩・中硬岩)	●	●
RN4型岩盤歯先 	岩盤層向け(軟粘土層・軟砂質)	●	-
RN6型岩盤歯先 	岩盤層向け(中硬岩)	-	●

○ 標準装備 ● 装着可 - 装着不可

■ オーガー歯先



» M型歯先 
土砂層向け(硬土・軟岩)
交換式の歯先を採用。



» S型歯先 
土砂層向け(硬土・軟岩)
歯先を溶接することで耐久性を向上。



» A型歯先 
岩盤層向け(軟岩・中硬岩)



» RN6型岩盤歯先 
岩盤層向け(中硬岩)

» 450mm径
350mm径 
必要な掘削穴径に合わせて選択可能。

主なオプション OP



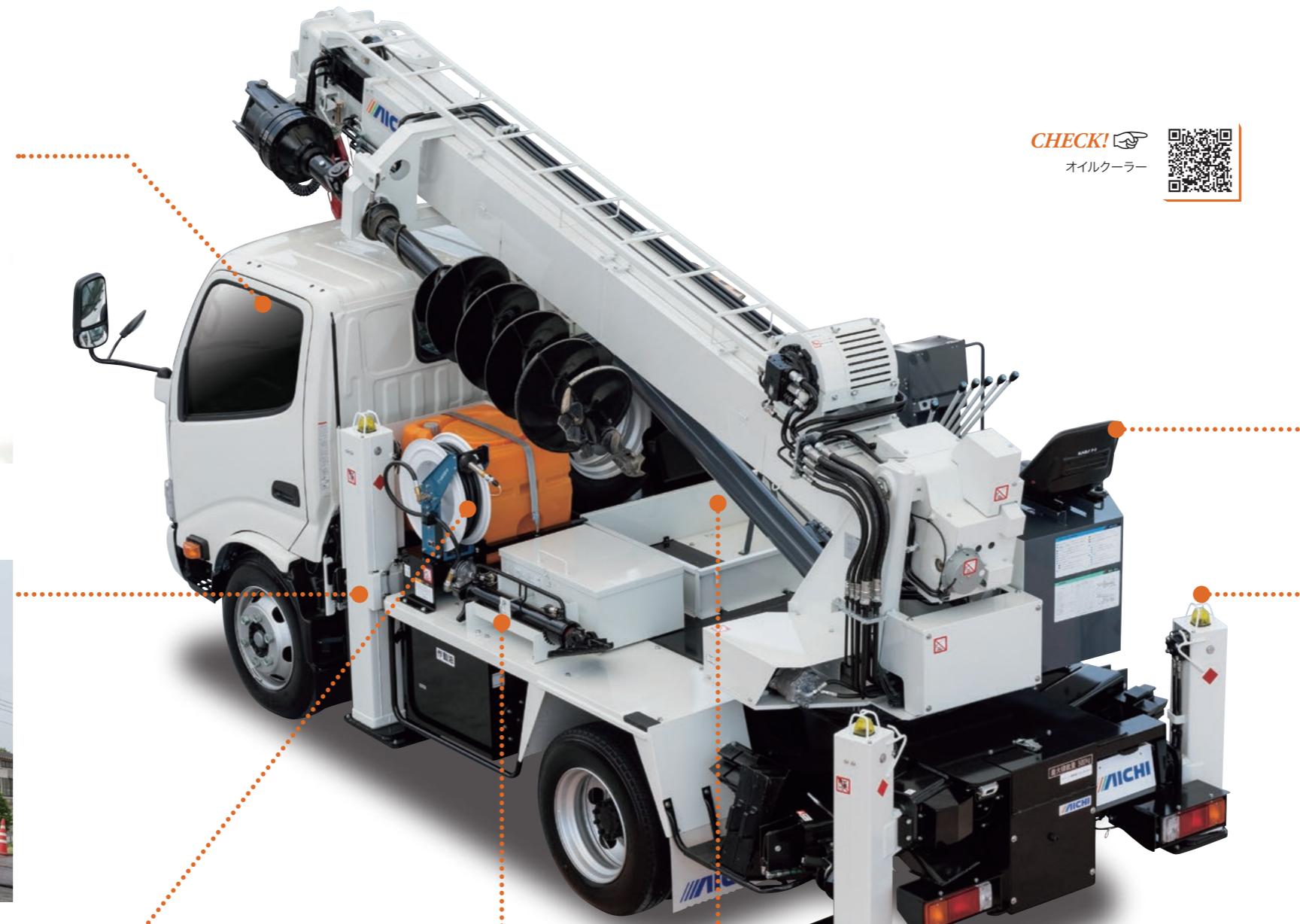
» カラーバックモニター OP
車両バック時の後方視界を補助。



» フロントローリングジャッキ OP (D50B1FSのみ)
クレーン作業時は11度、穴掘作業時は7度までの傾斜を補正。



» 水ホースリール OP (D50B1FSのみ)
手動巻き取り式のホースリールを設置(長さ15m)



CHECK! オイルクーラー



» 操作席防水カバー OP
雨や塵から操作席を保護。



» LEDアウトリガーアンダーライト OP
PTO接続時に点灯し、周囲に注意喚起。



» ゴム付大型パッドベース OP (D50B1FSのみ)
ジャッキ接地圧を低減。



» 抜柱機 OP
電柱の引き抜き作業で使用(専用ホース・取付チェーンが付属)



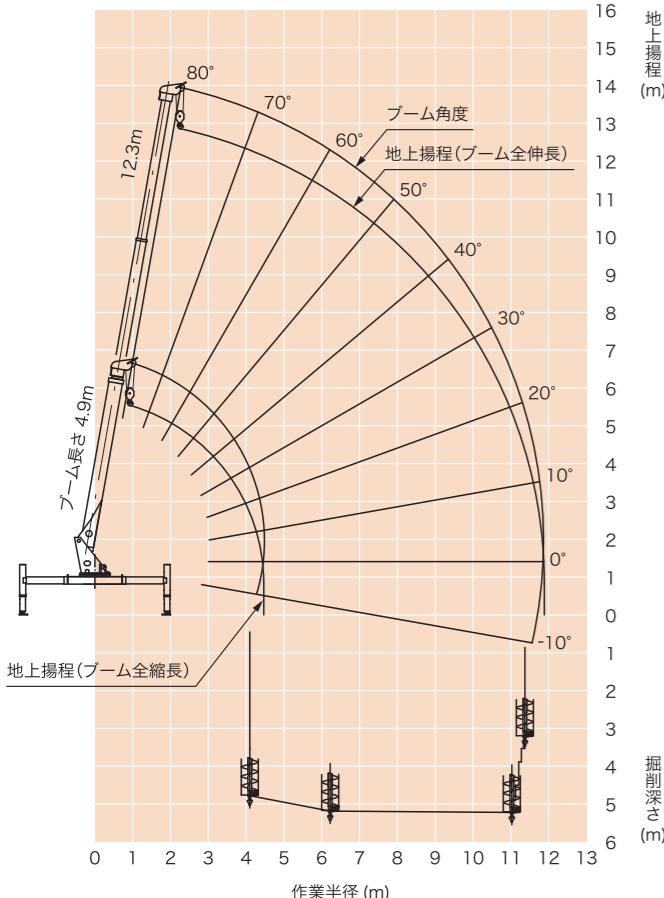
» オイルクーラー OP
高負荷連続作業によって温度が上昇した作動油を冷却。
作動油温度が一定以上に達すると自動で作動。

※ OP マークは「オプション装備」であることを表します
※掲載画像はオプション装着車です

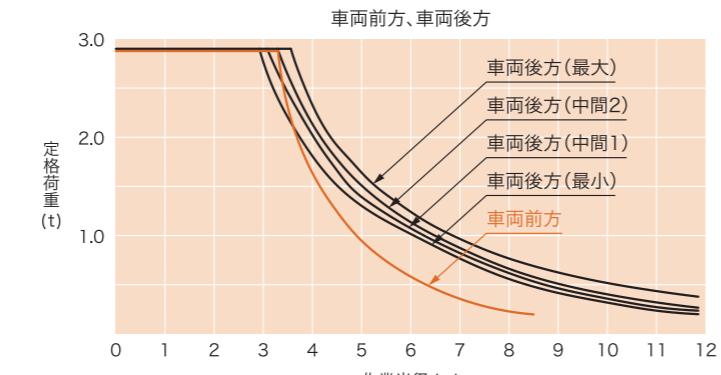
D50B1FS

Working Range

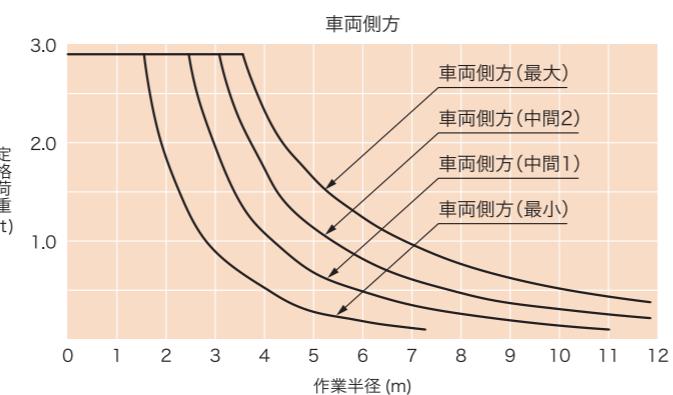
作業範囲図



定格荷重線図



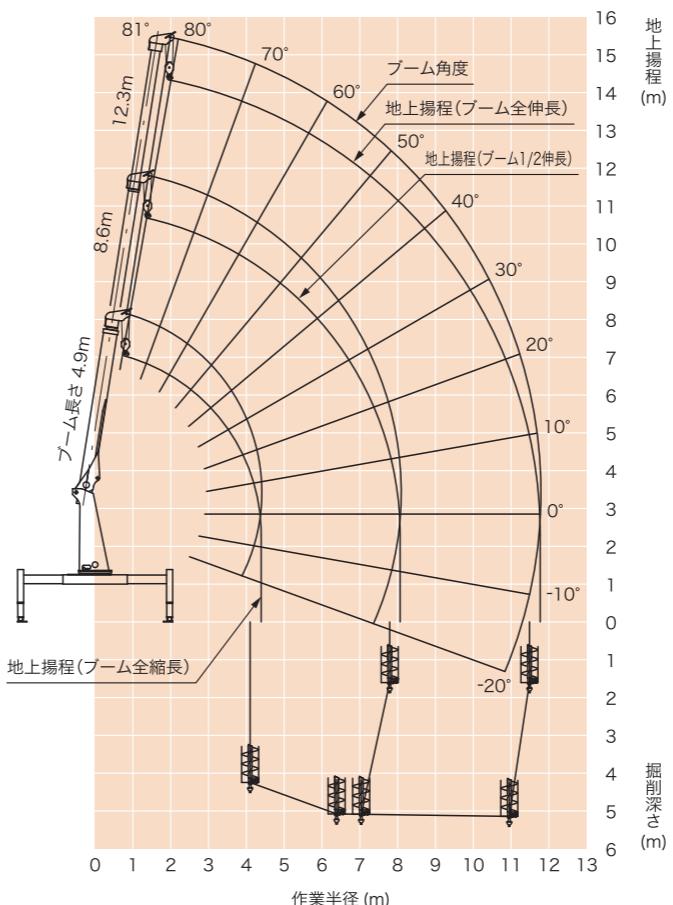
注1. 本図は水平堅土上でのクレーンの安定度に基づいて定められています
注2. 本図は「吊り具」「フックブロック」の重量を含んでおりません
注3. 本図の「車両前方」における定格荷重線はアウトリガーの張出量に関係なく常に一定です
注4. 本図の「車両後方」における定格荷重線は後方左右のアウトリガーガーと同じ張幅のものです



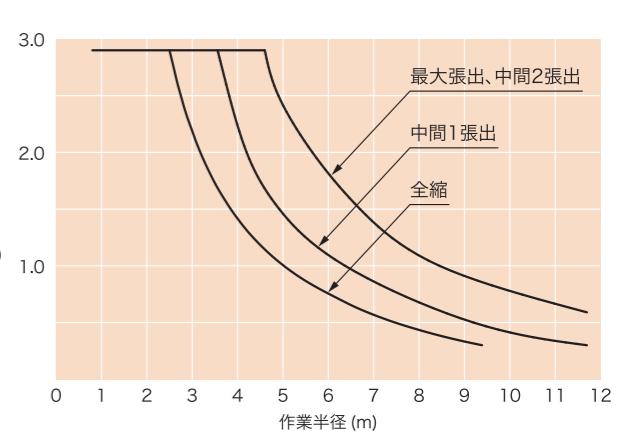
注1. 本図は水平堅土上でのクレーンの安定度に基づいて定められています
注2. 本図は「吊り具」「フックブロック」の重量を含んでおりません
注3. 本図の「車両側方」における定格荷重線は後方左右のアウトリガーガーと同じ張幅のものです

D70B1RS

作業範囲図

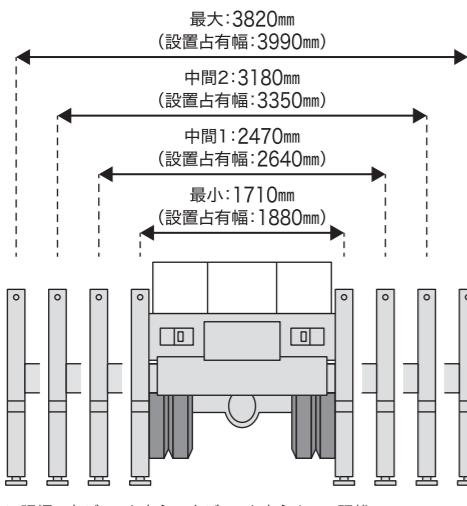


定格荷重線図

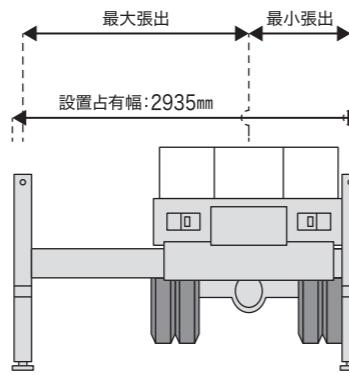


注1. 本図は水平堅土上でのクレーンの安定度に基づいて定められています
注2. 作業範囲は車両後方の最大190°です
注3. 本図はアウトリガーパッドが4本同一張幅の場合を表します
注4. 本図は「吊り具」「フックブロック」の重量を含んでおりません

アウトリガー張出寸法／設置占有幅

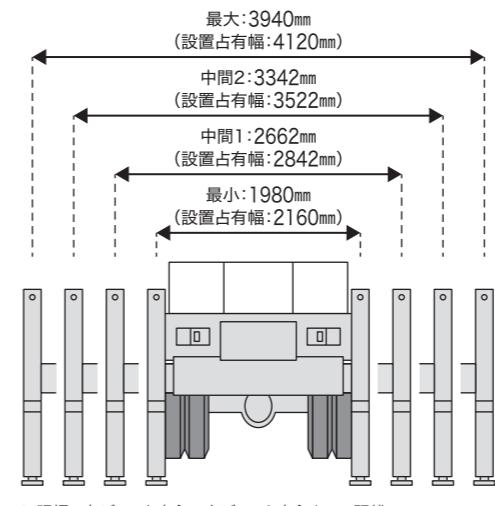


1車線規制での作業例

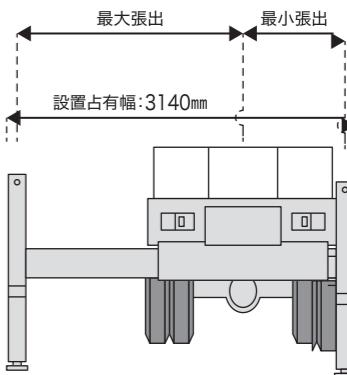


※張幅=左ジャッキ中心～右ジャッキ中心までの距離
※設置占有幅=左ジャッキパッドのふち～右ジャッキパッドのふちまでの距離
※数値は「前アウトリガー」の寸法となります

アウトリガー張出寸法／設置占有幅



1車線規制での作業例

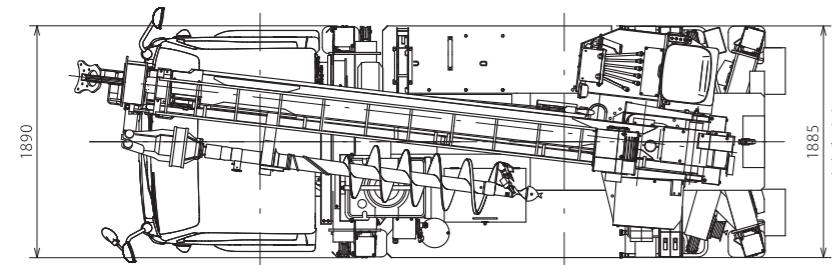
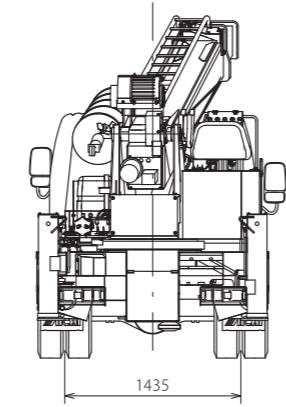
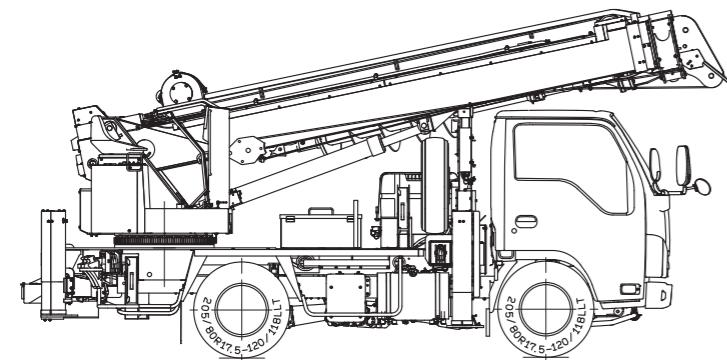
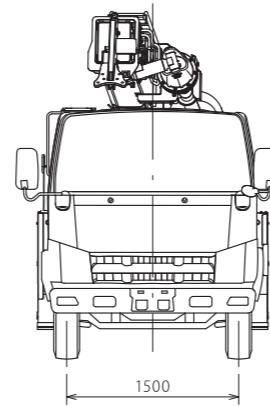
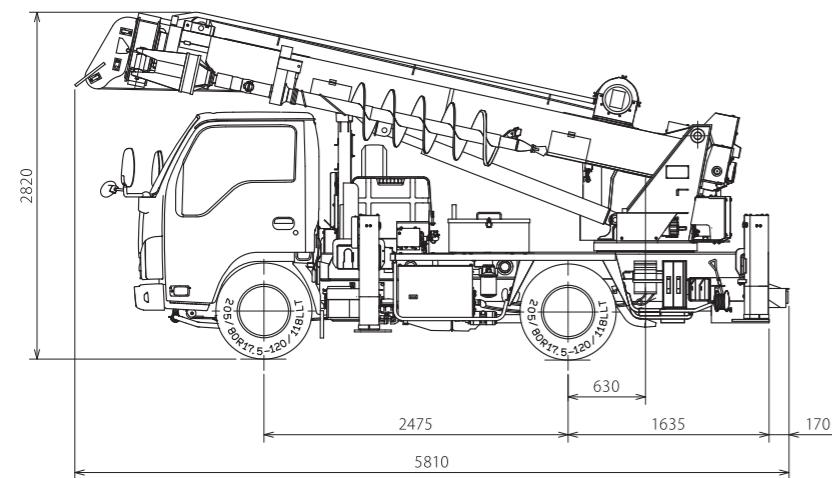


※張幅=左ジャッキ中心～右ジャッキ中心までの距離
※設置占有幅=左ジャッキパッドのふち～右ジャッキパッドのふちまでの距離
※数値は「前アウトリガー」の寸法となります

車両寸法図

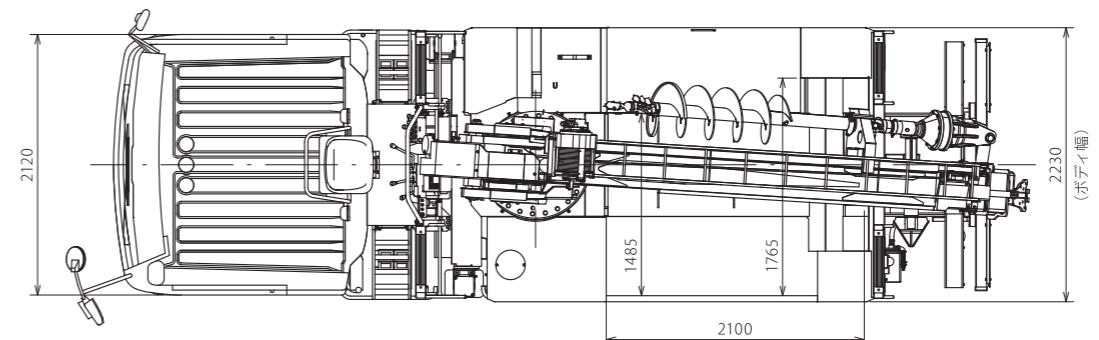
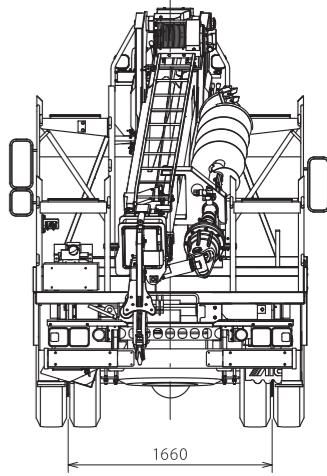
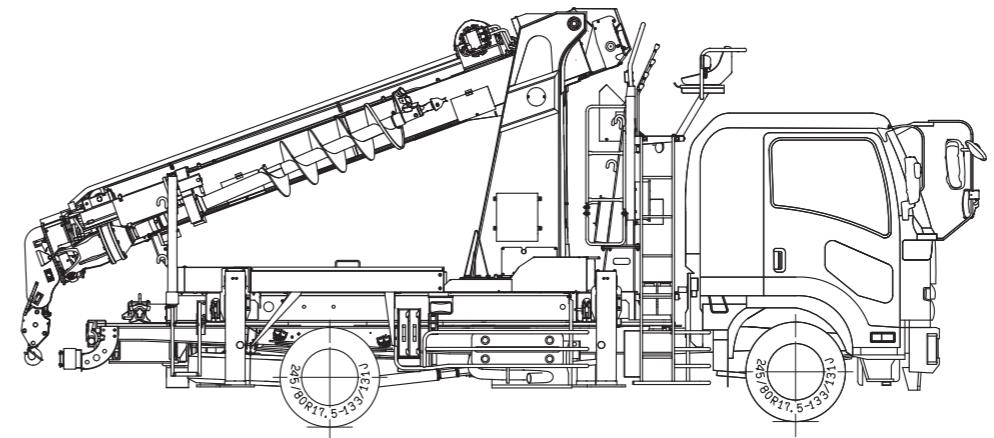
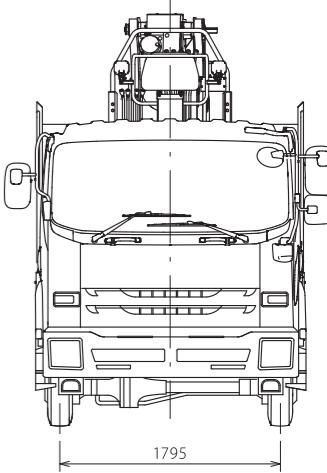
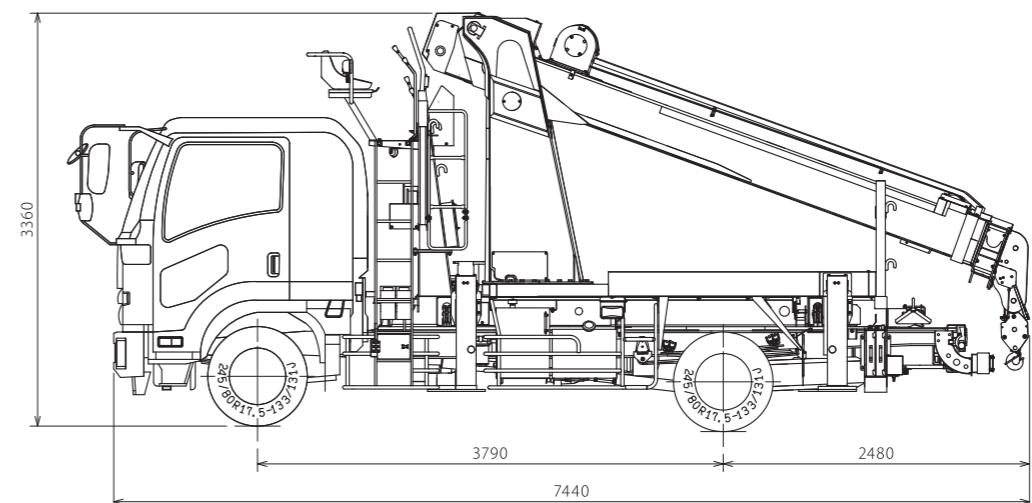
D50B1FS

車両寸法図



D70B1RS

車両寸法図



※車両寸法図における単位はmmです
※車両寸法は架装シャシーにより異なります

型式・名称	型式	D50B1FS	D70B1RS		
	名称	穴掘建柱車			
クレーン装置	最大定格荷重	2.9t			
	クレーン容量	2.9t×3.6m	2.9t×4.6m		
	クレーン作業範囲	360°	車両後方190°(左右95°)		
	作業半径	0.9m~11.8m	0.8m~11.7m		
	最大地上揚程	12.9m	14.2m		
巻上装置	フック速度	35m/60s(巻上・巻下)	50m/60s(巻上) 44m/60s(巻下)		
	ワイヤーロープ	TSK T IWRC6×Fi(29)B種 Ø10 又は TSK T IWRC6×P·WS(31)B種 Ø10	TSK T IWRC6×Fi(29)B種 Ø10		
	索数	2索			
穴掘装置	最大掘削深さ	5.2m			
	穴掘作業範囲	車両後方280°(左右140°)	車両後方190°(左右95°)		
	作業半径	4.1m~11.4m	4.2m~11.4m		
	掘削穴径	Ø0.5m			
	オガートルク	6470N·m(660kgf·m)	7110N·m(725kgf·m)		
ブーム	ブーム長さ	4.9m~12.3m			
	伸縮ストローク	7.4m			
	伸縮速度	24s(伸)、20s(縮)	16s(伸)、23s(縮)		
	起伏角度	-10°~80°	-20°~81°		
	起伏速度	19s(上)、14s(下)	23s(上)、26s(下)		
旋回装置	旋回角度	360°全旋回	車両後方190°(左右95°)		
	旋回速度	2.5rpm			
アウトリガー	最大張出幅	前	3.8m		
		後	3.7m		
安全装置		モーメントリミッター(定格荷重制限装置)、油圧系安全装置(油圧安全弁、ブーム伸縮安全装置 ジャッキ伸縮安全装置、ブーム起伏安全装置、オガー一巻過停止装置) ジャッキ・ブームインターロック装置、フック平行移動装置 フック巻過防止装置、合図用警報装置、ワイヤーロープ外れ止め装置、オガー脱落防止装置			
標準装備一覧	共通	エンジン始動・停止装置、マルチモニター、可変式ポール押し、水タンク&電動ポンプ、油圧取出口 工具箱、作業灯、ワイヤーガード、セーフティーコーン収納、水準器、アースリール(アース棒付き)			
	各機種	ワインチドラムカバー	ブーム格納位置旋回指針、後部反射板		
標準付属品		木製ジャッキベース、輪止め、玉掛けワイヤー、水ホース(ノズル付き)、標準付属工具			
安全に関するご注意	<p>●穴掘建柱車の運転には以下の資格が必要です。 ①穴掘、建柱、抜柱作業に使用時 -機体重量が3トン未満のものは「穴掘建柱車運転のための特別教育修了者」 -車両系建設機械(基礎工事用)運転技能講習修了者」 -機体重量が3トン以上のものは「車両系建設機械(基礎工事用)運転技能講習修了者」 ②荷の吊り上げ(荷役)作業に使用時 -「小型移動式クレーン運転技能講習修了者」または 「移動式クレーン運転士免許取得者」</p>				
	<p>●強風(10分間の平均風速10m/s以上)、大雨(1回の降雨量50mm以上) 大雪(1回の降雪量250mm以上)等、悪天候下での作業は法令により禁止されています。 ●抜柱作業を行なうには、抜柱機が必要です。 ●ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。 ※本仕様、設備名称および外観や構造の一部を予告なく変更することがあります ※車両および装備の色は撮影、印刷インキの関係で実際の商品と異なって見えることがあります ※本カタログ内の数値は参考値となります ※掲載されているオプションについては、仕様内容によっては着装できない場合があります</p>				

わたくしたちは、新しい変化を創造することで
社会の発展につくします

D50B1FS/D70B1RS導入のご相談を承ります

お問い合わせ先・営業拠点

本社	TEL.048-781-1111	〒362-8550 埼玉県上尾市大字領家字山下 1152 番地の10
広域レンタル・鉄道営業部	TEL.048-852-1421	〒338-0014 埼玉県さいたま市中央区上峰 1-15-4
北日本支店	TEL.022-236-0421	〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町 3-4-8
北日本支店 北海道	TEL.011-665-1301	〒063-0834 北海道札幌市西区発寒 14 条 4 丁目 2-70
関東支店	TEL.048-852-1104	〒338-0014 埼玉県さいたま市中央区上峰 1-15-4
中部支店	TEL.052-621-5112	〒459-8001 愛知県名古屋市緑区大高町丸の内 70-1
中部支店 北陸	TEL.076-434-2181	〒930-0177 富山県富山市西二俣 354
関西支店	TEL.06-6307-4567	〒532-0027 大阪府大阪市淀川区田川 3-9-56
中四国支店	TEL.082-429-2011	〒739-0151 広島県東広島市八本松町大字原 10852-57
中四国支店 四国	TEL.087-874-0808	〒769-0102 香川県高松市国分寺町国分 59-7
九州支店	TEL.092-935-5353	〒811-2207 福岡県糸島郡志免町南里 2-26-1
九州支店 サテライト沖縄	TEL.098-867-7337	〒900-0014 沖縄県那霸市松尾 2 丁目 17-29 タウンコート玉商 B 棟 6-G

D50B1FS/D70B1RSをより効果的に運用いただくために

機械の運用、安全のためにご活用ください

アイチ研修センターは、メーカーの教習機関として「経験豊富なスタッフ」「充実した設備」「最新の機材」により、お客様のご要望にお応えします。
現場に即した実践的な実技指導を特徴とし、資格取得だけでなく、危険再認識教育や技能向上教育など幅広いお役立ちを目指しております。

アイチ研修センター 労働局長登録教習機関

TEL.048-725-4441 FAX.048-725-4466

<https://www.aichi-kensyu.co.jp>



D50B1FS/D70B1RSを安心・安定して運用いただくために

点検と最適なメンテナンスのご提供

「いつもベストなコンディションで使える」「故障による機械停止などの低減」のために、機械の定期点検をお勧めします。
定期点検は、専門教育を受けている全国200箇所以上のアイチコーポレーションのサービスネットワークへお任せください。

※詳しくは最寄りのアイチコーポレーションカスタマーサービスセンターにお問い合わせください。

※最新の全国ネットワークサービスについては弊社ホームページで確認できます

北日本支店	東北中央カスタマーサービスセンター	TEL.022-236-0421
	北海道中央カスタマーサービスセンター	TEL.011-665-1301
	新潟カスタマーサービスセンター	TEL.025-259-6661
関東支店	関東中央カスタマーサービスセンター	TEL.048-852-1101
	上尾カスタマーサービスセンター	TEL.048-781-1503
	神奈川カスタマーサービスセンター	TEL.045-921-3905
中部支店	名古屋中央カスタマーサービスセンター	TEL.052-621-2290
	北陸中央カスタマーサービスセンター	TEL.076-434-2181
	三重サービスステーション	TEL.059-264-7873
関西支店	大阪中央カスタマーサービスセンター	TEL.06-6307-4555
	神戸サービスステーション	TEL.078-974-1231
中四国支店	広島中央カスタマーサービスセンター	TEL.082-429-2011
	高松サービスステーション	TEL.087-874-0808
	今治サービスステーション	TEL.0898-32-0860
九州支店	九州中央カスタマーサービスセンター	TEL.092-935-5353

「安全」「効率」「快適」を現場に

一人ひとりのお客さまにとって「なくてはならない存在」に。
作業環境創造企業として
課題解決のパートナーを目指します。

株式会社 アイチ コーポレーション

●アイチコーポレーション オフィシャルホームページ
<https://www.aichi-corp.co.jp>



※カタログ中の写真、イラストは実際の仕様と異なる場合があります
また記載の仕様は予告なく変更する事がありますのでご了承ください

※機械化車両は完成車の品質を検査するために作動テストを行います。そのため納車時にアワメーターの数値が増えている場合があります
※完成車をお届けするにあたり、自走する場合があります。そのため納車時に走行距離の数値が増えている場合があります